

第2回 近畿地方メディア連携協議会
令和2年2月26日

令和元年出水期において明らかとなった課題

令和元年出水期において明らかとなった課題

整理中の課題

台風第19号関連

- ① 大雨特別警報が解除された後の河川の増水に対する強い危機感が、自治体や住民に対して十分に伝わっていなかったのではないか。
- ② 「狩野川台風」を引用して記録的な大雨への警戒を呼びかけたが、強い危機感が伝わっていない地域もあり、過去事例の引用は慎重に行うべきではないか。
- ③ 河川の増水により下流の支川において本川からの逆流による氾濫が発生したが、雨が降り終わった後であったため、「危険度分布」で「湛水型の内水氾濫」の危険度を適切に表現できていなかったのではないか。

台風第15号関連

- ④ 暴風災害に対する強い危機感が、自治体や住民に対して十分に伝わっていなかったのではないか。

10/25千葉県などの大雨

- ⑤ 当初の予想に反して雨量等が大きくなってきたことの危機感が十分に伝わっていなかったのではないか。

令和元年出水期において明らかとなった課題と対応（案）（1）

整理中の課題

台風第19号関連

- ① 大雨特別警報が解除された後の河川の増水に対する強い危機感が自治体や住民に対して十分に伝わっていなかったのではないかと。

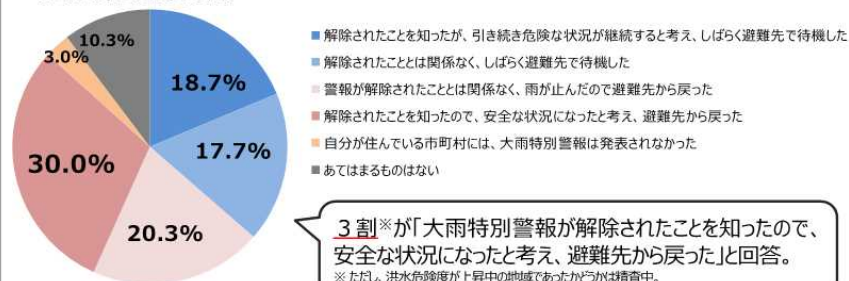
対応（案）

台風第19号関連

- ① 「特別警報を解除」ではなく「警報に切替え」などと表現。また、洪水等への警戒が引き続き必要である旨を、地方整備局と気象台との合同記者会見等も活用して分かりやすく明確に解説するほか、危険度分布等の図形式気象情報の活用、JETTによる解説に加え、ツイッター等SNSも含めたあらゆる手段を活用して解説。

気象庁「住民向けアンケート調査」

台風第19号では、大雨が弱まって「大雨特別警報」が解除された時間帯にどのような行動をとりましたか



※「台風第19号等を受けたアンケート調査（Web）」結果より集計。
（回答数は2100のうち台風第19号時に何らかの避難行動を実際にとった300）

※ 台風第19号等を受けたアンケート調査
実施期間：令和元年12月20日～25日
調査対象：大きな被害のあった7県（長野県、福島県、宮城県、静岡県、千葉県、神奈川県、茨城県）の住民（各県300名ずつ）
調査方法：Web

令和元年出水期において明らかとなった課題と対応（案）（1）

整理中の課題

② 「狩野川台風」を引用して記録的な大雨への警戒を呼びかけたが、強い危機感が伝わっていない地域もあり、過去事例の引用は慎重に行うべきではないか。

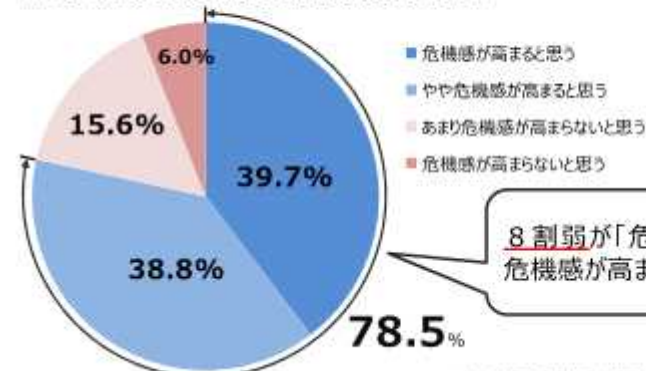
対応（案）

② 過去事例の引用は一定の効果があることから、台風第19号のような大きな被害が想定されるときに引き続き運用。また、特定の地域のみで災害が起こるかのような印象を与えないよう、地域に応じた詳細かつ分かりやすい解説を実施。



気象庁「住民向けアンケート調査」

今後、気象庁が実施する記者会見において今回の「〇〇台風」に匹敵する記録的な大雨という表現が用いられた場合、あなたはどのように感じると感じますか



※「台風第19号等を受けたアンケート調査（Web）」結果より集計（回答数は2100）。

令和元年出水期において明らかとなった課題と対応（案）（2）

整理中の課題

台風第19号関連（続き）

- ③ 河川の増水により下流の支川において本川からの逆流による氾濫が発生したが、雨が降り終わった後であったため、「危険度分布」で「湛水型の内水氾濫」の危険度を適切に表現できていなかったのではないか。

対応（案）

台風第19号関連（続き）

- ③ 危険度分布において「湛水型の内水氾濫の危険度」も同時に確認できるよう、本川周辺にハッチをかける表示に改善。また、本川の流域雨量指数が一定の値に到達した場合には、支川氾濫の危険度の高まりについて自治体への連絡等を実施するよう改善。

気象庁ホームページにおける表示（現行の仕様）



[改善案③] 危険度分布で湛水型の内水氾濫の表示を改善

H30
7月豪雨

➤ 危険度分布において「湛水型の内水氾濫の危険度」も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示するように改善する。

改善案 (イメージ)



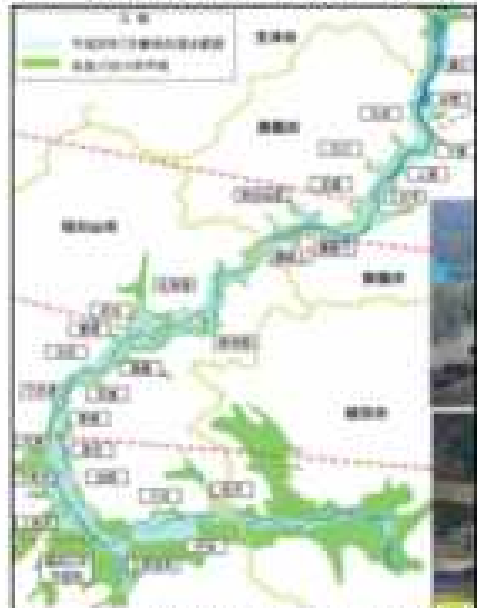
ハッチ表示はON/OFFできるようにボタンを追加 (デフォルトOFF)



- 指定河川水位情報
 - 水位情報項目ごとの表示/非表示
- 指定河川水位情報
 (河川水位情報表示/非表示の切り替え、表示/非表示の項目ごとの表示/非表示の切り替え、表示/非表示の項目ごとの表示/非表示の切り替え)
- 河川水位情報【警戒レベル5相当】
 - 河川水位情報【警戒レベル4相当】
 - 河川水位情報【警戒レベル3相当】
 - 河川水位情報【警戒レベル2相当】
 - 河川水位情報【警戒レベル1相当】
 - 河川水位情報【警戒レベル0相当】
- 洪水氾濫の危険度情報
- 河川水位情報【警戒レベル5相当】
 - 河川水位情報【警戒レベル4相当】
 - 河川水位情報【警戒レベル3相当】
 - 河川水位情報【警戒レベル2相当】
 - 河川水位情報【警戒レベル1相当】
 - 河川水位情報【警戒レベル0相当】
- 洪水氾濫の内水氾濫の危険度
 (洪水氾濫の内水氾濫の危険度の表示/非表示の切り替え、洪水氾濫の内水氾濫の危険度の表示/非表示の項目ごとの表示/非表示の切り替え)
- 内水氾濫【警戒レベル3相当】
 - 内水氾濫【警戒レベル2相当】

ボタンON時に内水氾濫の危険度を表示

平成30年7月豪雨の被害状況
 ○由良川沿川の鶴岡市、梨山町において浸水被害が発生。
 (河川上流水: 合計約170戸、河川下流水: 合計約600戸)



平成30年7月豪雨の被害状況 (河川沿内) (河川沿内)
 平成30年8月15日現在地方整備局

令和元年出水期において明らかとなった課題と対応（案）（2）

整理中の課題

台風第15号関連

- ④ 暴風災害に対する強い危機感が、自治体や住民に対して十分に伝わっていなかったのではないかと。

10/25千葉県などの大雨

- ⑤ 当初の予想に反して雨量等が大きくなってきたことの危機感が十分に伝わってなかったのではないかと。

対応（案）

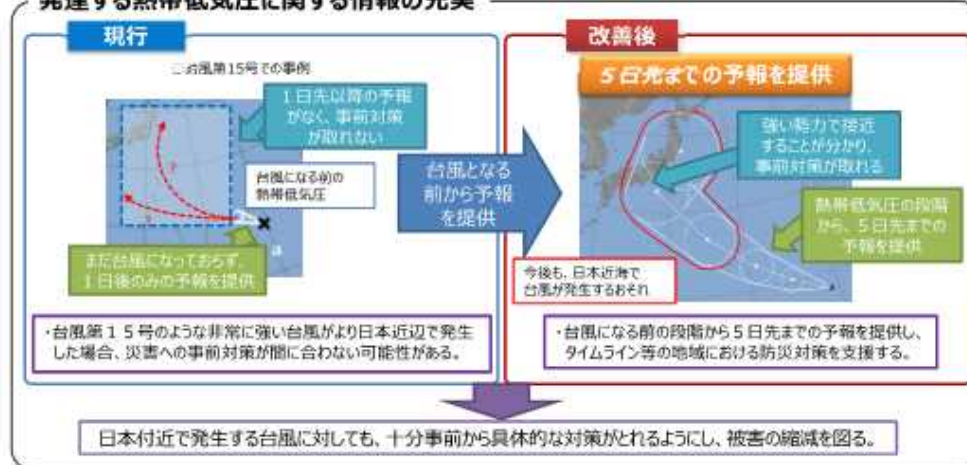
台風第15号関連

- ④ 台風が発達すると予想される熱帯低気圧の段階から、5日間先までの台風進路・強度予報を提供するよう改善を図る。また、早い段階から暴風等に対する警戒を呼びかけるとともに、暴風により起こりうる被害をわかりやすく解説。

10/25千葉県などの大雨

- ⑤ 気象情報等で、直前の予報や発表情報からの重要な変更が生じた場合には、その旨確実に強調して解説するよう改善。また、予報精度の向上に努める。

発達する熱帯低気圧に関する情報の充実



今後も、様々な取組みを進めて
参ります。